

# 第 131 回番組審議会議事録

(株) 中国コミュニケーションネットワーク

■ 開催日時 2026年6月11日(木) 午前11時

■ 開催場所 中国新聞ビル7階706会議室

■ 出席者

① 委員側

・ 出席委員 3人

木谷 健 (比治山学園理事長)

道面 雅量 (中国新聞社文化担当部長)

中川 圭 (乳がん患者友の会きらら理事長)

・ 欠席委員 3人

牛来 千鶴 (ソアラサービス代表取締役社長)

中川 晃慧 (浄土真宗本願寺派善正寺副住職)

向井 良 (弁護士)

② 会社側 出席者 3人

社長兼放送局長 小見山 文男

営業担当 久保田 正明

制作担当 渡邊 康美

■ 議題

- ・ 開会あいさつ
- ・ 番組試聴「JICA 海外協力隊に聞く」
- ・ 委員の感想、意見
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告
- ・ 質疑応答、その他

◇ 試聴番組「JICA 海外協力隊に聞く」(2026年5月13日放送)

毎月第2水曜日の「ごきげん chu～」のコーナー番組(午後3時～)として放送。広島県海外協力隊を育てる会会長の上田みどりさんが、協力隊経験者を招いて海外での活動などについて紹介しています。ゲストは2026年1月まで2年間、看護師の職種で東ティモール民主共和国に派遣された大西幸子さん。パーソナリティーは萩原世子。

<番組に対する委員の意見・感想>

- ・ 実際に海外に派遣された協力隊員の話に興味深く聞いた。東ティモールは、極貧国ながら石油が収入の大半を占めている国であることは知っている。日本の看護技術を教える活動の話だけでなく、看護学校への多くの学生が進学しても

卒業後の就職先が少なく、働く場がない、といった現状を通していろんな問題点が浮き彫りにされた。日本には分からない各国の実情を知ることができるいい番組だ。

- ・ 日本では当たり前のことが当たり前でない海外事情について、体験した人しか語れない内容であり感銘を受けた。協力隊員が派遣される国は発展途上国が多いと認識している。日本の技術を伝えることで、各国の生活や治安の向上などに貢献している協力隊員の活動は誇らしい。彼らの経験談は、あらためて日本の良さを再認識させてくれる。
- ・ 東ティモールは、インドネシアからの独立を求めた非暴力の民主化運動で大量の虐殺事件などがあった国。協力隊員の活動報告は非常に素晴らしいが、個人的には独立運動についてももう少し触れてほしかった。

◇ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

- ・ 訂正やリスナーから番組に関する苦情はありませんでした。
- ・ 5月3～5日の午後3～6時、フラワーフェスティバル特別番組として、白神社前のポップスステージからFFスペシャルライブを生放送しました。

以上